

機械器具（13）聴診器
機械式聴診器 13755000 一般医療機器

IMGソノリティ

【警告】

聴診器を耳につけたまま、チェストピースに大きな衝撃、又は大きな音を加えないこと。[耳に障害をきたす恐れがある]

【禁忌・禁止】

1. 本品を振り回さないこと。[チェストピースが抜けて怪我をする恐れがある]
2. 各部品などに破損等がある場合は、使用しないこと。[人体の傷害の恐れがある]

【形状・構造及び原理等】

本品は、血圧測定時のコロトコフ音の聴取、胸部での呼吸音と心音及び腹部での腸雑音確認等のための臨床・病棟活動に用いる汎用聴診器である。

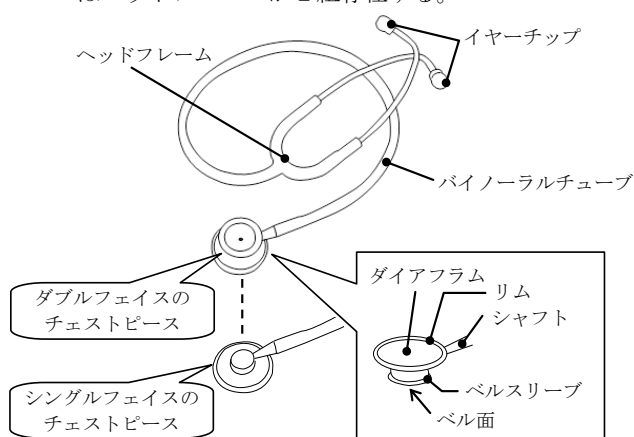
本品は、成人用、小児用、乳児用、教育用の用途によるもの、外装色の色違いによるもの、チェストピースの形によって分かれている。

1. 構成及び寸法

種 類		ベル面	総重量	全長	チェストピース高さ	ダイヤフラム径	ベル径	ダイヤフラムの厚さ
成人用	ライトウェイトダブルフェイス	有	108g	78cm	23mm	47mm	34mm	0.2mm ± 0.01mm
	カラーダブルフェイス		114g					
	ライトウェイトシングルフェイス	無	96g		14mm		—	
	カラーシングルフェイス		102g					
	スペシャルイズドダブルフェイス	有	157g					
	スペシャルイズド + Chies	有	169g		22mm		36mm	
小児用	小児用	有	130g	77cm	21mm	38mm	30mm	
乳児用	乳児用	有	113g	77cm	20mm	31mm	23mm	
教育用	教育用ライトウェイトダブルフェイス	有	220g	140cm	23mm	47mm	34mm	
	教育用カラーダブルフェイス		226g					
	教育用ライトウェイトシングルフェイス	無	204g		14mm		—	
	教育用カラーシングルフェイス		210g					
	教育用スペシャルイズドダブルフェイス	有	266g		22mm		36mm	
	教育用小児	有	241g	140cm	21mm	38mm	30mm	
	教育用乳児	有	224g	139cm	20mm	31mm	23mm	

2. 形状

図は、成人用・小児用・乳児用を示している。教育用はヘッドフレームが2組存在する。

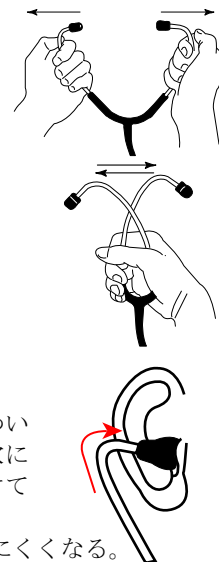


【使用目的又は効果】

心臓及び肺の音を聴くために用いる機械式の聴取装置をいう。通常、リスニングヘッドに膜があり、この膜が分岐Y字型チューブによってイヤークリップ（ユーザの耳に挿入する）を備えたヘッドギアに接続されている。通常、以下の2つの形式がある：1. 臨床・病棟活動に用いる汎用聴診器。2. 心臓専門医が使用する強化聴診器。

【使用方法等】

1. イヤーチップが耳管にねじ込まれていることを確認してください。ねじ込み際は、イヤークリップを時計回りに回転させて、軽く止まるところで固定してください。ねじ込み過ぎると耳管の先端がイヤークリップを突き抜ける場合があります。
また、本品には3種類のイヤークリップ（機種によって異なる）が用意されているので、適切なサイズのものを選んでください。
2. ヘッドフレームが自分にぴったり合うかを確認します。
《ヘッドフレームがきつい場合》
バネの力を和らげるには、左右のフレームをそれぞれ手でつかんで、フレームを広げてください。
《ヘッドフレームがゆるい場合》
バネの力を強めるには、フレームとバネの両方の接続部を片手で持って、フレームを握り締めてください。
3. 耳管の装着角度
耳管は前面に約 15 度の角度がついています。イヤークリップを耳の穴に差し込むように傾斜を前方に向けて装着してください。
※ 正しく装着しないと聞きとりにくくなる。
4. ベル面を有するもの（ダブルフェイス・小児用・乳児用等）の集音面の切替
片方の手でチェストピースを保持し、他方の手でシャフトをクリックが感じるまで180° 回転して、集音面を選択する。



【使用上の注意】

- ・使用中、チューブのねじれや折れがないことを確認すること。
- ・本品を液体に浸したり、熱滅菌しないこと。
- ・鋭利なものでダイヤフラムやチューブを傷つけないこと。
- ・イヤークリップを外した状態で、本品を使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
 - ・水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管してください。
2. 保管方法に係る注意 *
 - ・チューブがまっすぐに伸びた状態または緩やかに巻かれた状態で保管してください。[チューブを小さく巻いたままの保管、チューブが折れた状態での保管は、チューブの劣化・破損の恐れがある]

【保守・点検に係る事項】

1. 薄めた中性洗剤を湿らせたきれいな布で拭いてください。ダイヤフラムが汚れた場合は、あまり強くない消毒液を湿らせたきれいな布で拭いてください。
2. ダイヤフラムの交換方法
 - ・リムを指で引っ張って、リムとダイヤフラムを外す。
 - ・リムの溝に新しいダイヤフラムをはめてから、指で押しつけてリムをチェストピース外周の溝にはめる。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：eastsidemed株式会社 **
東京都文京区本郷3-24-5
TEL 03-3815-0056 FAX 03-3818-4085